

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-188846

(P2001-188846A)

(43) 公開日 平成13年7月10日 (2001.7.10)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	キーワード (参考)
G 0 6 F 17/60		G 0 6 K 7/00	U
G 0 6 K 7/00		17/00	A
17/00		G 0 6 F 15/21	Z
			3 4 0 A

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2000-3(P2000-3)

(22) 出願日 平成12年1月4日 (2000.1.4)

(71) 出願人 599175750

佐久間 昌己

東京都小金井市緑町5-11-3

(71) 出願人 500010680

有限会社ミラクルウインド

市川市東菅野1-22-6

(72) 発明者 野中 祐之

市川市東菅野1-22-6 有限会社 ミラ

クルウインド内

(72) 発明者 佐久間 昌己

東京都小金井市緑町5-11-3

(74) 代理人 100107113

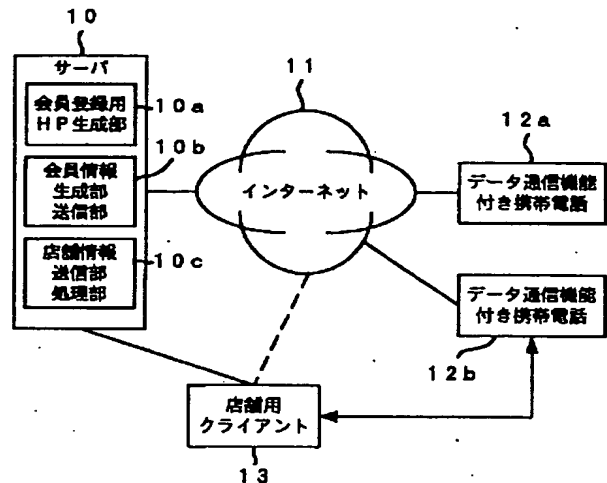
弁理士 大木 健一

(54) 【発明の名称】 携帯端末を用いたバーコード情報伝送方法及びシステム並びにそのためのサーバ及びクライアント

(57) 【要約】

【課題】 インターネット携帯電話機と端末装置の間で簡単に情報交換を行うことができるインターネット携帯電話機を用いたバーコード情報伝送方法及びシステムを提供する。

【解決手段】 サーバ10は、会員登録を受け付けるための会員登録用ホームページ (HP) 生成部10aと、会員に対するメッセージを生成し、バーコード情報に変換して送信する会員情報生成部・送信部10bと、契約した店舗に対し、会員に送ったメッセージの内容とその送付先等の情報を送信するとともに、店舗からの情報を受信して処理する店舗情報送信部・処理部10cを備える。サーバ10からメッセージが送信されると、インターネット携帯電話機12には所定のメッセージ及びバーコードが表示される。ユーザは、希望に応じて店舗に行き、そのメッセージを提示して割引サービス等の所定のサービスを受けることができる。店舗の担当者は、バーコードリーダでインターネット携帯電話機に表示されたバーコードを読み取り、会計処理を行う。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 メッセージ情報をバーコード情報へ変換するステップと、

前記バーコード情報を携帯端末へ送信するステップと、
携帯端末において前記バーコード情報を表示部に表示するステップと、

バーコードリーダにより前記表示部の前記バーコード情報を読み取るステップと、

読み取られた前記バーコード情報を転送するステップとを備える携帯端末を用いたバーコード情報伝送方法。

【請求項 2】 前記バーコード情報は、前記表示部の表示能力に応じた、複数のドットからなるグラフィックデータであることを特徴とする請求項 1 記載の携帯端末を用いたバーコード情報伝送方法。

【請求項 3】 前記バーコード情報は、所定の URL に存在し、前記携帯端末へは前記 URL を含むメールが送られ、前記携帯端末は、前記 URL にアクセスして予め用意されたバーコード情報を受信することを特徴とする請求項 1 記載の携帯端末を用いたバーコード情報伝送方法。

【請求項 4】 利用者側の抽出理由及び需要者側の抽出理由に基づきメッセージ情報を送信すべき会員を抽出するステップと、

前記メッセージをバーコード情報へ変換するステップと、

抽出された会員の携帯端末に対して前記バーコード情報を送信するステップと、

送信された前記メッセージを受けて、携帯端末の画面に前記バーコード情報を表示するステップと、

バーコードリーダにより前記表示部の前記バーコード情報を読み取るステップと、

前記バーコード情報を前記メッセージ情報に変換するステップと、

前記メッセージ情報をサーバから予め送られている情報と照合して、特典を提供するかどうか判断するステップと、

前記判断ステップの判断結果に基づき前記特典を提供するステップと、

利用者に関する情報を前記サーバへ送信するステップと、

利用者に関する前記情報を受信して分析するステップと、

分析された情報を蓄積するステップとを備える携帯端末を用いたバーコード情報伝送方法。

【請求項 5】 会員を登録するためのホームページを生成する会員登録用 HP 生成部、会員に対する情報を生成するとともに会員のもつ携帯端末に対して前記情報を送信する会員情報生成部送信部、前記情報をバーコード情報に変換して前記会員情報生成部送信部に送るバーコード変換部、及び、会員に対する前記情報に基づき店舗に

対する情報を生成して送信するとともに、店舗から利用状況に関する情報を受信して分析する店舗情報送信部処理部を含むサーバと、

前記サーバから会員に対する前記バーコード情報を受信してバーコードを表示する携帯端末と、

前記バーコード情報を読みこむバーコードリーダ、及び、前記バーコード情報をメッセージ情報に変換するバーコード処理部を含み、前記メッセージ情報を前記サーバへ送信する店舗用クライアントとを備え、

会員に対する前記情報は、店舗が提供する商品及び／又は役務に関するものであり、かつ、所定の特典を意味するものであることを特徴とする携帯端末を用いたバーコード情報伝送システム。

【請求項 6】 店舗が提供する商品及び／又は役務に関する会員向けのメッセージを生成する会員向け情報生成部と、

生成されたメッセージに適する会員を抽出するとともにそのあて先を読み出して出力する会員抽出フィルタと、生成された前記メッセージをバーコード情報に変換するバーコード変換部と、

前記バーコード情報を所定のあて先に送信する会員情報送信部と、

前記メッセージに対応する店舗に対して、前記メッセージを送信したこと及び照合情報を送信する店舗用情報送信部と、

前記店舗において利用者が携帯端末の表示画面を提示して所定の特典を要求したことを示す顧客情報を受ける顧客情報受信部と、

前記顧客情報を分析する顧客情報分析部とを備え、

前記会員向け情報生成部は、前記顧客情報分析部の分析結果に基づき前記メッセージを生成することを特徴とするサーバ。

【請求項 7】 サーバから送られるメッセージに関する情報及び照合情報を受信する受信部と、

利用者により提示された携帯端末の表示部からバーコード情報を読み取るバーコードリーダと、

前記バーコード情報をメッセージ情報に変換するバーコード処理部と、

前記メッセージ情報を前記照合情報と照合する照合部と、

前記照合部の出力に基づき会計処理を行う会計処理部と、

前記照合部から前記利用者に関する情報を受けてサーバへ送信する送信部とを備えるクライアント。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、携帯端末を用いたバーコード情報伝送方法及びシステム並びにそのためのサーバ及びクライアントに関する。

【0002】

【従来の技術】店舗における商品・役務の売上を上げるために、宣伝広告の一環として商品・役務のチラシを配布したり、割引券を配布することが広く行われている。この種のチラシや割引券は、新聞に折り込んだり、ダイレクトメールで直接自宅に送付したり、駅前や盛り場で無料で配布していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、近年の著しい情報通信技術の発達及びそれに伴う携帯電話の普及により、一人が一台の携帯情報端末を保有するようになりつつある。特に、近年実用化され急速に普及しつつあるインターネット携帯電話は、通常の通話のほかにインターネットのアクセスも可能であり、大きな可能性を秘めていると考えられる。この種のインターネット携帯電話を用いて、従来の方法とは全く異なる宣伝広告の手法が待たれている。

【0004】例えば、インターネット携帯電話を用いて個人に直接商品役務の情報を届けることが考えられる。この場合、インターネット携帯電話と従来の端末装置の間で情報交換が必要になるが、情報交換の方法は簡単で、なるべく従来の端末装置の機能を利用するものであることが望ましい。

【0005】この発明は、係る課題を解決するためになされたもので、携帯端末と端末装置の間で簡単に情報交換を行うことができる携帯端末を用いたバーコード情報伝送方法及びシステム並びにそのためのサーバ及びクライアントを提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】この発明に係る携帯端末を用いたバーコード情報伝送方法は、メッセージ情報をバーコード情報へ変換するステップと、前記バーコード情報を携帯端末（インターネット携帯電話機を含む、以下同じ）へ送信するステップと、携帯端末において前記バーコード情報を表示部に表示するステップと、バーコードリーダにより前記表示部の前記バーコード情報を読み取るステップと、読み取られた前記バーコード情報を転送するステップとを備えるものである。

【0007】好ましくは、前記バーコード情報は、前記表示部の表示能力に応じた、複数のドットからなるグラフィックデータである。好ましくは、前記バーコード情報は、所定のURLに存在し、前記携帯端末へは前記URLを含むメールが送られ、前記携帯端末は、前記URLにアクセスして予め用意されたバーコード情報を受信する。この方法によれば、メールにファイルを添付できないときでも、URLにより所定のホームページにアクセスし、当該ホームページからバーコードを受信し、携帯端末に表示させることができる。

【0008】この発明に係る携帯端末を用いたバーコード情報伝送方法は、利用者側の抽出理由及び需要者側の抽出理由に基づきメッセージ情報を送信すべき会員を抽

出するステップと、前記メッセージをバーコード情報へ変換するステップと、抽出された会員の携帯端末に対して前記バーコード情報を送信するステップと、送信された前記メッセージを受けて、携帯端末の画面に前記バーコード情報を表示するステップと、バーコードリーダにより前記表示部の前記バーコード情報を読み取るステップと、前記バーコード情報を前記メッセージ情報に変換するステップと、前記メッセージ情報をサーバから予め送られている情報と照合して、特典を提供するかどうか判断するステップと、前記判断ステップの判断結果に基づき前記特典を提供するステップと、利用者に関する情報を前記サーバへ送信するステップと、利用者に関する前記情報を受信して分析するステップと、分析された情報を蓄積するステップとを備える携帯端末を用いたものである。

【0009】この発明に係る携帯端末を用いたバーコード情報伝送システムは、会員を登録するためのホームページを生成する会員登録用HP生成部、会員に対する情報を生成するとともに会員のもつ携帯端末に対して前記情報を送信する会員情報生成部送信部、前記情報をバーコード情報に変換して前記会員情報生成部送信部に送るバーコード変換部、及び、会員に対する前記情報に基づき店舗に対する情報を生成して送信するとともに、店舗から利用状況に関する情報を受信して分析する店舗情報送信部処理部を含むサーバと、前記サーバから会員に対する前記バーコード情報を受信してバーコードを表示する携帯端末と、前記バーコード情報を読みこむバーコードリーダ、及び、前記バーコード情報をメッセージ情報に変換するバーコード処理部を含み、前記メッセージ情報を前記サーバへ送信する店舗用クライアントとを備え、会員に対する前記情報は、店舗が提供する商品及び／又は役務に関するものであり、かつ、所定の特典を意味するものである。

【0010】この発明に係るサーバは、店舗が提供する商品及び／又は役務に関する会員向けのメッセージを生成する会員向け情報生成部と、生成されたメッセージに適する会員を抽出するとともにそのあて先を読み出して出力する会員抽出フィルタと、生成された前記メッセージをバーコード情報に変換するバーコード変換部と、前記バーコード情報を所定のあて先に送信する会員情報送信部と、前記メッセージに対応する店舗に対して、前記メッセージを送信したこと及び照合情報を送信する店舗用情報送信部と、前記店舗において利用者が携帯端末の表示画面を提示して所定の特典を要求したことを示す顧客情報を受ける顧客情報受信部と、前記顧客情報を分析する顧客情報分析部とを備え、前記会員向け情報生成部は、前記顧客情報分析部の分析結果に基づき前記メッセージを生成するものである。

【0011】この発明に係るクライアントは、サーバから送られるメッセージに関する情報及び照合情報を受信

する受信部と、利用者により提示された携帯端末の表示部からバーコード情報を読み取るバーコードリーダと、前記バーコード情報をメッセージ情報に変換するバーコード処理部と、前記メッセージ情報を前記照合情報と照合する照合部と、前記照合部の出力に基づき会計処理を行う会計処理部と、前記照合部から前記利用者に関する情報を受けてサーバへ送信する送信部とを備えるものである。

【0012】この発明に係る記録媒体は、コンピュータを、前記方法を実行させるためのプログラムを記録したものである。

【0013】媒体には、例えば、フロッピーディスク、ハードディスク、磁気テープ、光磁気ディスク、CD-ROM、DVD、ROMカートリッジ、バッテリーバックアップ付きのRAMメモ리카ートリッジ、フラッシュメモ리카ートリッジ、不揮発性RAMカートリッジ等を含む。

【0014】また、電話回線等の有線通信媒体、マイクロ波回線等の無線通信媒体等の通信媒体を含む。インターネットもここでの通信媒体に含まれる。

【0015】媒体とは、何等かの物理的手段により情報（主にデジタルデータ、プログラム）が記録されているものであって、コンピュータ、専用プロセッサ等の処理装置に所定の機能を行わせることができるものである。要するに、何等かの手段でもってコンピュータにプログラムをダウンロードし、所定の機能を実行させるものであればよい。

【0016】

【発明の実施の形態】発明の実施の形態1. この発明の実施の形態1に係る装置／方法について説明する。図1は、この装置／方法の全体構成を示すブロック図である。情報を提供する側のサーバ10がインターネット11（イントラネットでもよい）に接続されている。同様に、ユーザ側のデータ通信機能付き携帯電話（インターネット携帯電話）12a、12bがインターネット11に接続されている。サーバ10に登録されているインターネット携帯電話12は、インターネットを介して、サーバ10からメッセージを受け取ることができる。サーバ10は、会員登録を受け付けるための会員登録用ホームページ（HP）生成部10aと、会員に対するメッセージを生成し送信する会員情報生成部・送信部10bと、契約した店舗に対し、会員に送ったメッセージの内容とその送付先等の情報を送信するとともに、店舗からの情報を受信して処理する店舗情報送信部・処理部10cを備える。サーバ10からメッセージが送信されると、インターネット携帯電話12には所定のメッセージが表示される。例えば、図5のようなメッセージが表示される。このメッセージは商品・役務の安売り情報や、割引券を含む。メッセージは、インターネット携帯電話機の表示画面上に、文字及び／又はグラフィックの

形態で表示される。そのユーザは、希望に応じて店舗に行き、そのメッセージを提示して割引サービス等の所定のサービスを受けることができる。店舗において、前記サービスを提供して良いかどうか照合を行い、提供可能なときはサービスを提供するとともに、ユーザの電話番号等の識別情報を店舗用クライアント（端末）13に入力する。店舗用クライアント13は専用線、公衆回線、インターネットなどを介して、入力された識別番号、提供サービスの内容、提供日時等の情報をサーバ10に送信する。

【0017】図1のシステムによれば、チラシ・割引券等をインターネットを介して直接ユーザのインターネット携帯電話機に届けることができるので、配布のコストが低くなるとともに、予め定められた範囲（ターゲット）の会員に配布するので、必要な情報を必要な相手に届けることができ、有効性が高くなる。利用者から見れば、会員登録用HPで送信して欲しいメッセージを選択できるので、必要な情報のみを届けてもらうことができ、煩わしさが少ない（駅前等で配布されるチラシに煩わしさを感じることは多い）。また、商品・役務の提供者から見れば、顧客吸引力を高めて売上の増加を期待できるとともに、利用者の分析をコンピュータでほぼリアルタイムで行うことができ、販売戦略上も非常に有用である。

【0018】インターネット携帯電話機について簡単に説明を加える。インターネット携帯電話機は、これまでの携帯電話機と違い、音声通話はもちろん、銀行口座の残高照会・振込をはじめ、レストランガイド、タウンページ検索など、生活に身近で便利なオンライン・サービスが利用できる。さらにインターネットを経由しての電子メールの送受信はもちろん、インターネット携帯電話機に対応したホームページも携帯電話機単体で見ることができる。

【0019】主な特徴は次のとおりである。

- ・携帯電話による「音声通話」に加え、インターネット携帯電話機キーを押すだけでインターネットで公開されている多くのサイトにアクセスできる。インターネット携帯電話機で提供されるサービスは、モバイルバンキングやチケット予約だけでなく、ニュース速報やレストラン検索など、生活に身近で便利なものを中心に続々と誕生している。

- ・インターネット携帯電話機のデータ通信方式はパケット通信（9600bps）方式なので、通信時間による課金ではなく、送受信したデータの量で課金される。そのため、通信時間を気にせず、時間をかけて情報を見ることができる。

- ・インターネット携帯電話機メールは、インターネット携帯電話機同士はもちろん、インターネットにも対応しているので、外出先からでもインターネットのメールの送受信が可能である。また、パケット通信なので短いメ

ールであれば1円～3円程度でメールの送受信ができる。

【0020】インターネット携帯電話機の画面はパソコンの小さな画面に相当します。したがって、ユーザは、インターネットや各種情報サービスに接続していつでも、どこでも、ほしい情報を引き出して見ることができる。

【0021】インターネット携帯電話機で提供されるおもなサービスは次のとおりである。

- ・インターネット携帯電話機メッセージサービス
インターネット携帯電話機メッセージサービスを提供しているサイトでメッセージ受信の申し込みをすると、ほしい情報が自動的に携帯電話機に届く。たとえば、ニュース速報や天気予報などの情報サービスなどを、通信時間を気にせずに受けることができる。

- ・インターネット携帯電話機メールサービス
インターネット携帯電話機同士でのメールのやりとりはもちろん、インターネットメールのやりとりが可能である。インターネット携帯電話機では、契約している携帯電話番号がそのまま電子メールアドレスに含まれる。

- ・インターネット携帯電話機インターネットブラウザ
インターネット携帯電話機はインターネット携帯電話機用に作られたインターネットホームページも見ることができる。インターネット携帯電話機用に商用サービスをおこなっているサイトだけでなく、個人で作ったインターネット携帯電話機対応のホームページもインターネット携帯電話機で見ることができる。

【0022】パソコンでインターネットメールを送受信したり、ホームページを見たりするためには、所定の設定を行わなければならないが、この作業は難しいものであった、インターネット携帯電話機は最初から電子メールアドレスを持っているとともに、ホームページを見るためのブラウザも内蔵されているため、面倒な設定は必要ない。インターネット携帯電話機で特徴的なのは、既存のインターネット携帯電話機サービス以外にも、インターネット上にあるインターネット携帯電話機対応のホームページを自由に見ることができることである。

【0023】メッセージサービスは、各サイトのメッセージサービスで欲しい情報を登録しておけば、自動的に届くサービスである。メッセージには事前に登録が必要なメッセージリクエストとメッセージフリーとがある。どちらも電子メールの受信と同じように自動的に届く。

【0024】インターネット携帯電話機の便利なところはパソコンやPDA (Personal Data Assistance : 携帯情報端末) などのコンピュータ機器を持たずに、さまざまなインターネット情報サービスにアクセスできることである。

【0025】図2は、この発明の実施の形態1のサーバの機能ブロック図である。ユーザは、インターネットのWebをブラウジングして所定のホームページにアクセスし、所定のメッセージサービスを受けるための会員登録

録を行う。会員登録部100がこの処理を行う。登録されたユーザの情報は会員データベース(DB)に記憶される。ユーザ情報として、氏名、年齢、職業、勤務先、自宅、E-mailアドレス、電話番号、希望するメッセージ種類などがある。登録されたユーザに対しては、この発明の実施の形態により提供されるサービスとは別に、このHPが提供する所定のサービスが提供される。例えば、メーリングリスト、伝言板、フォーラム、天気、株価、ニュースなどである。このサービスは会員サービス提供部102により提供される。

【0026】この発明の実施の形態によるサービスを提供する場合、まず、会員向け情報生成部105が所定の情報メッセージ、例えば、割引券、チラシ、広告、ダイレクトメールなどを生成する。

【0027】情報生成部105の出力メッセージはそのまま会員情報送信部104に送られるとともに、バーコード変換部105bにおいてバーコード情報に変換されて会員情報送信部104に送られる。メッセージ情報はユーザ用にインターネット携帯電話機の画面に表示され、バーコード情報は店舗のレジスタやPOSシステム用にインターネット携帯電話機の画面に表示される(図5)。なお、メッセージ情報とバーコード情報は完全に一致する必要はない。例えば、ユーザ用のメッセージ情報にセールストークを含ませるときでも、バーコード情報にこれを含ませる必要はない。また、バーコード情報に店舗用の情報、販売管理上の情報、照合用の暗号化情報、その他情報を含ませるときでも、メッセージ情報にこれを含ませる必要はない。このように考えると、メッセージ情報はユーザ用のもので、バーコード情報は店舗側・提供者側のためのものであると言える。また、デジタル情報であるので暗号化も容易である。インターネット携帯電話機において、受けたバーコード情報をそのまま表示してもよいが、何らかの処理を加えてから表示してもよい。例えば、受けたバーコード情報に加えて、インターネット携帯電話機の識別情報(電話番号)を加えてもよい。

【0028】バーコード情報の具体的表示方法について説明を加える。バーコードは線の太さ及び間隔によりデータが記述されるから、インターネット携帯電話機において同様の表示を行えばよい。例えば、野線の幅を指定して線の太さを調整することができる。また、GIF形式の画像データを用いてバーコードを表現することができる。

【0029】会員向け情報生成部105が所定の情報メッセージを生成すると同時に、会員抽出フィルタ103が、会員DB101を検索して、生成されたメッセージに適する会員を抽出するとともに、そのあて先を読み出す。読み出されたあて先は、会員情報送信部104に送られる。会員情報送信部104は、送られたあて先に生成されたメッセージを送信する。

【0030】一方、店舗用情報送信部107は、前記メッセージによる割引等が適用される店舗に対して、そのようなメッセージを送信したことを知らせる。これは、利用者が店舗においてインターネット携帯電話機の表示画面を提示したとき、スムーズに支払い処理が進むようにするためである。また、イタズラのメッセージが流されたときに対応するためである。ここで送信される情報は、会員向け情報の内容、送付対象者、照合情報などである。

【0031】利用者がインターネット携帯電話機の表示画面を提示して所定のサービスを受けると、そのことが店舗用クライアント13からサーバ10に送られてくる。顧客情報受信部108がこれを受信し、顧客情報分析部109がこれを分析する。例えば、メッセージを受信した人のうちで何人がサービスを利用したか、利用金額はいくらか、前回のメッセージと比べて利用状況は改善したか、などを分析する。分析された情報は販売情報DB110に記憶され、今後のマーケティングに利用されるとともに、次のメッセージ作成のためにフィードバックされる。

【0032】図3は、この発明の実施の形態1のインターネット携帯電話機及び店舗用クライアントの機能ブロック図である。サーバ10から会員向けに送信されたメッセージ及びバーコード情報は、インターネット携帯電話機のアンテナ120、送受信部121、処理部122を経由して表示部123に表示される。表示部123は、一般には比較的小さな液晶表示装置(LCD)である。一方、サーバ10から送信された店舗用情報は、店舗用クライアント13の受信部130を経由して照合部131に入力される。

【0033】ここで、利用者がインターネット携帯電話機の表示部123に送信されたメッセージ(例えば、図5のようなもの)を提示して、レジで店員に割引を求め、レジ係りは、バーコードリーダ134で表示部123をスキャンしてバーコード情報を取りこむ。取りこまれたバーコード情報はバーコード処理部135でコードに変換され、照合部131に送られる。この処理により、レジに商品名、価格を入力することができる。この方法によれば、インターネット携帯電話機に表示された情報をごく簡単に読み取ることができる。バーコードリーダは多くのレジ・POSシステムに採用されているから、既存のシステムにおいてそのまま利用することができる。サーバ側でバーコード変換を行うので、既存のインターネット携帯電話機において利用可能である。つまり、この方法は、既存の電話機・レジをそのまま、あるいは多少の改修を加えることにより適用可能で、低コストで実現することができる。

【0034】照合部131は、入力された商品名等の情報と、サーバ10から送られた店舗用情報とを比較して、サービスを提供するかどうか決定し、その決定結果

を会計処理部132に対して出力する。会計処理部132は所定の割引を行って請求金額を表示する。なお、照合データとして、電話番号、ID、キーワード、コード、提供者の商号・商標、提供内容が考えられる。電話番号、IDを用いれば、特定の会員のみに対するサービスを提供でき、キーワードやコードを用いれば、所定の商品群・サービス群、あるいは所定の期間限定のサービスを提供できる。提供者の商号・商品を用いれば、特定のメーカー・提供者ごとにサービスを提供できる。これは、キャンペーンを行っているメーカーにとって利用価値がある。

【0035】図4は、この発明の実施の形態1の装置/方法の動作フローチャートである。このフローチャートにしたがって装置/方法の全体の動作について説明する。

【0036】会員を抽出する(S1)。これは、メッセージを送信する適切な相手を選択するためである。会員によってはメッセージの受信を希望しない者もいるので、これらは送付先から除外される(需要者側の抽出理由)。一方、提供者側から特定の会員にメッセージを送信したいときもある(提供者側の抽出理由)。例えば、ある店舗で特別セールを行っている場合、その店舗の近くに勤務先や自宅がある人を抽出したり、ある商品に限りサービスする場合、その商品の需要者となりそうな者を、例えば、年齢、性別、趣味、年収に応じて抽出する。また、一定期間全く利用がなかった者を除外することも考えられる。例えば、図6の例では、お昼をお弁当で済ますサラリーマンやOLが対象となる。

【0037】会員情報を送信する(S2)。予め作成されたメッセージ(例えば、図6に示すようなもの)を、ステップS1で抽出された相手に対して送信する。

【0038】送信されたメッセージを受けて、インターネット携帯電話機はメッセージの存在を利用者に知らせる。利用者がメッセージを読む操作を行うと、メッセージが画面に表示される(S3)。

【0039】利用者は、サービスを受けようとする店舗でメッセージ画面を提示する(S4)。

【0040】レジ係りは、レジに照合情報を入力する(S5)。照合部131は、照合情報をサーバから予め送られている情報と照合して、サービス提供を拒否するかどうか判断する(S6)。

【0041】サービスを提供してよければ、サービスを提供する(S8)。これで利用者は商品の割引購入等のサービスを受けることができる。照合部131は顧客の電話番号、ID等の情報を送信部133へ送り、顧客情報を送信する(S9)。

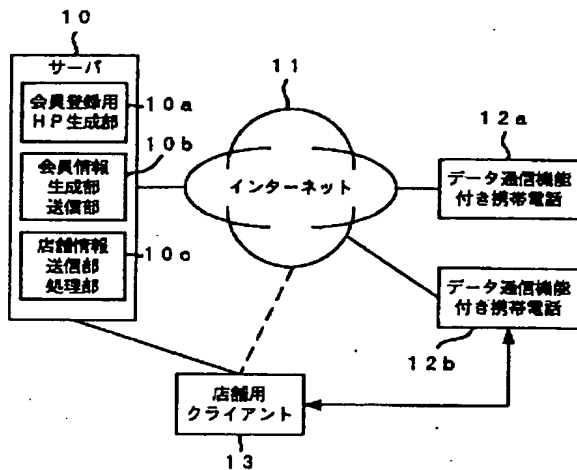
【0042】サーバ10は、受信した顧客情報を分析して(S10)、その情報を蓄積する(S11)。蓄積された情報は経営情報としての活用が期待される。

【0043】なお、バーコード情報は、所定のURLに

存在し、前記インターネット携帯電話機へは前記URLを含むメールが送られ、前記インターネット携帯電話機は、前記URLにアクセスして予め用意されたバーコード情報を受信するようにしてもよい。つまり、サーバはメールでURLをインターネット携帯電話機に通知し、ユーザがそのURLにアクセスし、サーバから所定のバーコードを受信する、という手順になる。この方法によれば、メールにファイルを添付できないときでも、URLにより所定のホームページにアクセスし、当該ホームページからバーコードを受信し、インターネット携帯電話機に表示させることができる。当該ホームページに複数のバーコードを用意しておき、ユーザが所望のものを選択し受信するようにしてもよい。このホームページは、いわば、割引券の集合ページであり、ユーザは所望の割引券を得ることができる。また、このホームページは、割引券以外のバーコード、例えば、抽選券、くじ、スクラッチカード、引換券などをバーコード化したものを提示するようにしてもよい。

【0044】なお、以上の説明において、インターネット携帯電話機を例にとり説明したが、電話機能をもたない無線端末装置であって、インターネットに接続できてメールの受信及び／又はブラウジングが可能な装置にも本発明は適用できる。

【図1】



【0045】本発明は、以上の実施の形態に限定されることなく、特許請求の範囲に記載された発明の範囲内で、種々の変更が可能であり、それらも本発明の範囲内に包含されるものであることは言うまでもない。また、本明細書において、手段とは必ずしも物理的手段を意味するものではなく、各手段の機能が、ソフトウェアによって実現される場合も包含する。さらに、一つの手段の機能が、二つ以上の物理的手段により実現されても、若しくは、二つ以上の手段の機能が、一つの物理的手段により実現されてもよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の実施の形態1の装置/方法の全体構成を示すブロック図である。

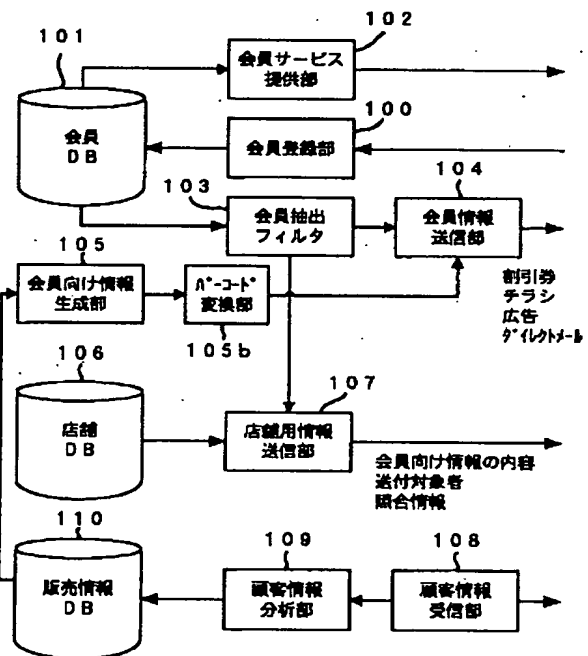
【図2】 この発明の実施の形態1のサーバの機能ブロック図である。

【図3】 この発明の実施の形態1のインターネット携帯電話機及び店舗用クライアントの機能ブロック図である。

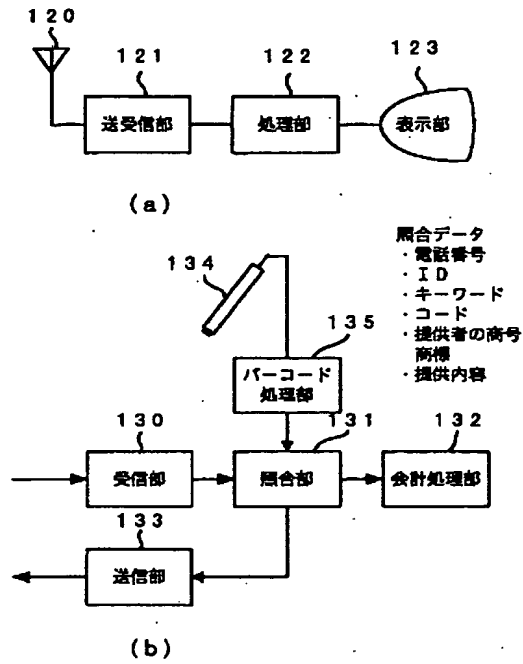
【図4】 この発明の実施の形態1の装置/方法の動作フローチャートである。

【図5】 この発明の実施の形態1の装置/方法によりインターネット携帯電話機に表示される画面の例である。

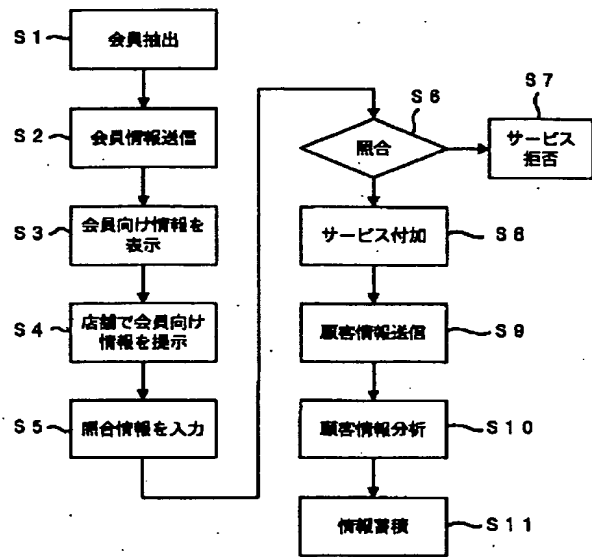
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

